

ESG投資における取組みについて ～脱炭素先行地域事業に関する株式会社オーリスへの出資～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、株式会社オーリス（代表取締役 高橋 浩人）に対する出資を実施しましたので、お知らせいたします。

環境省の公募事業である脱炭素先行地域に採択された大潟村は、脱炭素化の実現を目指し、村の地域エネルギー事業を主体的に進めていく組織として官民共同出資により株式会社オーリスを設立しました。同社が進めていく地域エネルギー事業は、脱炭素先行地域においてモデル性のある事業として採択され、日本の脱炭素社会の実現に貢献するものと考えられております。当行は、今後大潟村で進められていく地域エネルギー事業へ伴走し、事業の成功に向けて地域金融機関としての役割を果たしてまいります。

当行では、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」において、環境課題への対応として気候変動を重要課題のひとつとして掲げており、引き続き事業活動を通じて、脱炭素社会の実現に貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

記

1 株式会社オーリスの概要

会社名	株式会社オーリス
設立日	2022年7月15日
事業内容	○自然エネルギー発電・供給事業 ○自然エネルギー熱供給事業 ○省エネルギー事業 等

2 ESG投資への取組み

当行では、環境課題や社会課題の解決ならびに持続可能な社会の実現に資する投融資をサステナブルファイナンスと定義し、2030年度までに累計5,000億円の実行を目指しています。その取組みの一環として、ESG投資に積極的に取り組んでおります。

<これまでの取組み>

2021年 8月～[環境負荷低減に資する船舶投資ファンドへの出資](#)

2021年12月～[カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合への出資](#)

2022年 3月～[MSD第二号投資事業有限責任組合への出資](#)

2022年 7月～本出資

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。